



第14回大会 1号通信

日本産業カウンセリング学会

Japanese Association of Industrial Counseling

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2番28号 飯田橋ハイタウン1020
TEL/FAX 03-5228-4418 E-mail:jaic14th-taikai@amail.plala.or.jp
編集者：第14回大会準備委員長 桐村 晋次 発行日：平成21年4月20日

日本産業カウンセリング学会第14回大会案内

(第1号通信)

ご挨拶

日本産業カウンセリング学会第14回大会が、8月28日～30日に法政大学で開催されることになりました。本年は特に世界的な経済不況の荒波のさなかに開催される大会となります。こうした厳しい時代背景の中で、経営者をはじめ働く人々は、経済回復の兆しがなかなか見えない不透明感に行く手を阻まれ、不安定な労働環境の中で、誰もが不安、悩み、苦しみを抱えながら闘っています。

このような背景のもと、産業カウンセリングは働く人々とその職場や組織が抱える多様な問題の解決を支援することができるか、まさにその真価が今こそ問われようとしています。すなわち、産業カウンセリングが、人々が心身ともに健康で、もてる能力を最大限活かし、働くことを通して一人ひとりが人間として豊かに成長・発達するとともに、組織や社会のさらなる発展・成長を支援し、それらに寄与できるかが問われているといえるでしょう。

日本産業カウンセリング学会においては、働く人の「メンタルヘルスとキャリア」の両面からの研究を通して、いかに一人ひとりの「自立」を支援することができるかを、学会の大切な研究課題としています。この第14回大会ではこうした時代背景をふまえた上で、「自立を支える産業カウンセリングーメンタルヘルスとキャリア支援の統合を目指してー」を大会テーマとして開催いたします。大会での研修会、研究発表、ラウンドテーブル、シンポジウムなど、会員の方々に積極的にご参加いただき、会員相互の情報交換、親睦を深めることを通して、会員一人ひとりが自らの手で創りあげる実り豊かな大会にしたいと考えております。多くの会員の皆様のご参加を願い、8月にお目にかかれまことを今から楽しみにしております。

日本産業カウンセリング学会副会長
第14回大会準備副委員長
宮城 まり子(法政大学)

I 大会テーマ

「自立を支える産業カウンセリング」

—メンタルヘルスとキャリア支援の統合を目指して—

II 会期・会場

会期：2009年8月28日(金)：研修会、自主シンポジウム
29日(土)：大会 第一日目
30日(日)：大会 第二日目

会場:法政大学 市ヶ谷キャンパス

〒142-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1



●主なターミナルからの交通アクセス

18	東京駅	JR中央線快速-約4分	御茶ノ水駅	JR総武線-約4分	飯田橋駅	徒歩-約10分	市ヶ谷キャンパス
20	新宿駅	JR総武線-約10分			市ヶ谷駅	徒歩-約10分	
20	池袋駅	地下鉄有楽町線-約10分			飯田橋駅	徒歩-約10分	
19	渋谷駅	地下鉄半蔵門線-約6分	永田町駅	地下鉄有楽町線-約3分	市ヶ谷駅	徒歩-約10分	
20	上野駅	JR山手線-約4分	秋葉原駅	JR総武線-約6分	飯田橋駅	徒歩-約10分	

※ 内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す

<http://www.hosei.ac.jp/hosei/campus/annai/ichigaya/access.html>

Ⅲ 大会スケジュール

8月28日(金)	8月29日(土)	8月30日(日)
研修会 受付開始 9:00～ 開始:9:30	大会1日目 受付開始 9:00～ 開始 9:20～	大会2日目 受付開始 9:00～ 開始:9:30
研修会 I 9:30～12:30 午前コース/1日コース	学会長挨拶 受賞者記念講演 9:30～10:30	個人研究発表【2】 9:30～10:40
	移動/休憩(20分)	休憩(10分)
	個人研究発表【1】 10:50～12:00	個人研究発表【3】 10:50～12:00
昼食 12:30～13:30	昼食/理事会 12:00～13:00	昼食 12:00～13:00
研修会 II 13:30～16:30 午後コース/1日コース	学会総会 13:10～14:30	学会企画シンポジウム 13:00～15:00
	大会記念講演 14:35～15:50	休憩(10分)
	休憩(10分)	ラウンドテーブル 15:10～16:40
休憩 (15分)	大会企画シンポジウム	16:40 大会終了
自主シンポジウム 16:45～18:45	16:00～18:00	
	懇親会 18:20～20:30	

IV 主要プログラム

【8月28日(金)】

(1) 研修会

- 半日コース 3時間 午前9:30～12:30／午後13:30～16:30
一日コース 6時間 午前9:30～午後16:30

研修コースにつきましては以下ものを予定しております。

現在講師の選定など鋭意準備を進めているところですが、都合により開講できないコースもありますのでご了承下さい。

なお、詳細につきましては2号通信にてご案内いたします。

1日コース

- ①「精神分析的カウンセリングの実際」川上範夫先生(元奈良女子大学)
- ②「認知行動療法」福井至先生(東京家政大学)
- ③「プレイバック・シアター」小山田治子先生(D. H. R. 研究所)
- ④「ヘルピング・スキルとしてのアクティブ・リスニング」寺田正美先生
(働く人の心とキャリアの相談室)
- ⑤「システムズ・アプローチ」平木典子先生(東京福祉大学大学院)

半日コース

- ⑥「インタラクティブ・フォーカシングとリスニング」諸富祥彦先生(明治大学)
- ⑦「精神医学の基礎知識」尾久裕紀先生(白梅学園短期大学)
- ⑧「産業カウンセリングとキャリア・カウンセリング」小澤康司先生(立正大学)
- ⑨「就業形態の多様化」杉忠重先生(東洋学園大学)
- ⑩「産業カウンセリングに必要な労働法の知識」古山善一先生
(全国労働基準関係団体連合会)
- ⑪「産業カウンセリングとアセスメント」宮崎圭子先生(跡見学園大学)
- ⑫「アセスメント／バウムテストの実践的活用」足立智昭先生(島根大学)
- ⑬「メンタル・ヘルスとストレス・コーピング」小澤康司先生(立正大学)
- ⑭「研究倫理－質的研究の進め方と倫理的配慮」松下由美子先生(山梨県立看護大学)
- ⑮「アサーションの理論」今野能志先生(行動科学研究所)

(2) 自主シンポジウム

自主シンポジウムは、会員の皆様に自由に企画・討議していただくものです。時間はおおむね2時間を予定しております。企画を希望される方は別添の用紙に必要事項をご記入いただき、FAXにて2009年6月13日までに大会事務局へご提出下さい。(準備委員会にて調整させていただきます)

【8月29日(土)】

(1)受賞者記念講演

学会賞：東京福祉大学大学院教授・心理学部長 松原 達哉 氏

(2)個人研究発表【1】

発表者は以下の条件を満たしている必要があります。

①大会当日において本学会正会員であること

②会費を納入済みであること

研究発表の方法は口頭発表とします。

発表の時間は1件につき30分(発表20分・質疑応答10分)とし、研究発表者となるのは一人一回に限ります。ただし、連名発表者になる場合はこの限りではありません。

発表原稿の様式や締め切り等につきましては、8ページからの「個人研究発表・自主シンポジウムの論文原稿作成要領」をご覧ください。

(3)総会

29日(土)13:10より開催します。会員の方は是非ご出席ください。

(4)大会記念講演

現在、講演者と出演交渉中です。

講演者は決まり次第お知らせいたします。

大会記念講演は学会員ではなくてもご参加可能です。

(5)大会企画シンポジウム

シンポジウムの案が現在検討されておりますが、会員の皆様からもシンポジウムのご提案を募集いたします。ご意見を準備委員会にお寄せください。

テーマ(案)
強い現場を守れ
—企業現場における産業カウンセリングの存在意義—
※詳細につきましては第2号通信でご案内します

(5)懇親会

29日(土)18:20より開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

【8月30日(日)】

(1)個人研究発表【2】及び個人研究発表【3】

個人研究発表【1】の説明をご参照下さい。

(3)学会企画シンポジウム

テーマ
時代の転換期における産業カウンセリングの
緊急課題
—新たな生き方・働き方を求めて—

※詳細につきましては第2号通信でご案内します

(2)ラウンドテーブル

ラウンドテーブル・ディスカッションでは、皆様が興味・関心のあるテーマの部会にご参加いただき、直接討議、意見交換していただく場です。

〈テーマ〉(案)

- ・女性のライフイベントとキャリア形成
- ・カウンセリングにおける家族問題
- ・カウンセラーの組織内行動—組織や職場への働きかけ
上司・産業医・人事とのコラボレーション
- ・メンタルヘルスとキャリア・カウンセリングの統合
- ・中小企業における人材育成とメンタルヘルス
- ・休職者の職場復帰の支援と職場適応
- ・企業におけるキャリア相談室の機能と課題
- ・失業者の就業支援
- ・今、求められる研修とそのプログラム内容
- ・人材構造の複雑化とダーバースィティ・マネジメント
- ・発達障害の理解とその支援
- ・うつと自死について考える

IV 諸費用

参加申し込みの詳細につきましては第2号通信でご案内いたします。

①大会参加費(論文集1冊含む)			
正会員	予約	8,000円	当日 10,000円
非会員	予約	10,000円	当日 12,000円
学 生	予約	4,000円	当日 5,000円
②研究発表料(論文掲載料) 2,000円			
連名発表の場合 正会員 1,000円(非会員 2,000円)			
③発表論文に写真掲載の場合 1葉 500円			
④論文追加代金 4,000円 当日 5,000円			
⑤懇親会参加費 4,000円(学生2,000円)			
⑥研修会参加費			
1) 半日コース(予約)			
	正会員	4,000円	(当日 5,000円)
	非会員	5,000円	(当日 6,000円)
	学 生	2,000円	(当日 2,500円)
2) 1日コース(予約)			
	正会員	8,000円	(当日 9,000円)
	非会員	10,000円	(当日 11,000円)
	学 生	4,000円	(当日 5,000円)

※大会記念講演会参加費(講演会のみ参加) 1,000円

V 今後の予定

5月末	第2号通信(最終案内・参加申込書等)発送
6月13日	研究発表申し込み・自主シンポジウム申し込み締め切り
6月26日	研究発表原稿締め切り
7月10日	大会参加、研修会参加申し込み締め切り
7月中旬	プログラム発送
8月中旬	大会論文集発送
8月28日	大会開催

VI 大会準備事務局(大会に関するお問い合わせ先)

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン1020号室
日本産業カウンセリング学会事務局内
第14回大会事務局
TEL&FAX:03-5228-4418
e-mail:jaic14th-taikai@amail.plala.or.jp

※事務局が不在の場合もありますので、できるだけメールまたはFAXにてお問い合わせください

■ 個人研究発表・自主シンポジウムの論文原稿作成要領

論文集掲載原稿は次の要領で作成してください。

今大会では、発表申込者に別途原稿作成要領の送付はいたしません。

発表をお申し込みの方は以下を熟読の上原稿を作成し、期日までに大会準備委員会事務局へご郵送ください。

(1) 研究発表

① 原稿用紙と記入方法

ワードプロセッサ・パソコンワープロソフトを使用し、黒色で鮮明に印刷してください。

原稿は論文集の完全版下として、そのまま使用します。

用紙はA4版上質紙等を使用してください。(感熱紙不可)

文字は明朝体で揃えてください。

1ページは24字×45行×2段を基本に(2)レイアウト図を基準に作成し、2ページ分、または4ページ分を提出してください。3ページになりますと見開きの右側が空欄のページとなりますので、原稿は必ず2ページまたは4ページでお送りください。

② 表題・本文のレイアウト

「題目」は1・2行目に本文より大きい文字を使用して記入してください。

「氏名」は3行目に記入してください。なお連名発表者がいる場合には、口頭発表される方の氏名の前に○印をつけてください。

「所属」は4行目にかっこでくって記入してください。連名発表者の所属が同一であれば、ひとつだけ記入してください。所属が大学の場合、学部まで記入し大学院生は研究科名を記入してください。連名者が多数の場合は一般に通用する略称を用いても差し支えありません。

「本文」は必ず6行目から書き始めてください。

題目の字数・副題等の関係から上記の行数を若干変更しなければならない場合は、印刷範囲の枠をはみ出さないように本文を削るか、行間をつめて印刷してください。

文末にキーワードを3語程度入れてください。

③ 図・表・写真

図・表・写真の合計面積が現行全体の1/3を越えないようにしてください。

図・表は原稿に直接貼り付けるか、別紙に書いたものを貼り付けてください。

大きい図や表を縮小して貼り付けてもかまいません。ただし縮小コピーを繰り返すと見えにくくなる場合がありますので、ご注意ください。

写真掲載の場合、写真は原稿用紙に貼りつけないで、裏面に研究発表の氏名・写真番号・タイトル・大きさ(縦・横の長さ)の指定などを記入してください。

④ 原稿の送付

原稿は折らずに、必ず簡易書留で郵送してください。

(e-mail・宅配業者のメール便などは不可)

プログラムの編成・座長依頼等に使用しますので、原稿のコピーを必ず2部同封してください。

1つの研究グループが同じテーマについて「一連の発表」を行うときには、発表順位を示し、代表者がとりまとめて一括発送してください。この場合封筒に「一括発送」と明記してください。

⑤発表機材について

発表に機器の使用をご希望の方は、申込用紙に所定の欄がありますので、忘れずにご記入ください。事前の申込みがない場合は事務局で準備する機材の利用ができません。(ご自身で用意された機材を使用する場合、特に申込みは必要ありません)

プロジェクター・ビデオ・DVD・OHPなど一般的に研究発表で利用される機器につきましては大会事務局で準備いたしますが、使用できる機器の詳細につきましては別途大会事務局までお問い合わせください。

また、当日の急なトラブルに対応できるよう発表用のデータはメモリスティックなどでバックアップをお取りいただき、当日ご持参されることをおすすめいたします

なお、諸般の事情で機材をご希望に沿えない場合は事前にその旨ご連絡いたしますので、ご了承ください。

当日配布の資料につきましては発表者が必要部数(50部程度)をご用意ください。大会事務局においての印刷はいたしかねます。

※小型のパソコンやMacintoshでの発表を予定されている方は、プロジェクター入力用のコネクターが合わない場合がありますので、お手数ですが専用の変換ケーブルをご持参下さい。

⑥原稿提出について

2009年6月26日(金) 必着でお願い致します。

なお、お送りいただいた原稿の訂正はできません。訂正が必要な時は、大会当日に正誤表を配布していただくこととなりますので、ご注意ください。

<研究発表等に係る書類提出先・問い合わせ先>

第14回大会事務局

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28

飯田橋ハイタウン1020号室

日本産業カウンセリング学会事務局内

TEL&FAX:03-5228-4418

e-mail:jaic14th-taikai@amail.plala.or.jp

(2)レイアウト図

原稿標準仕様 左右余白 1.5cm 上下余白 2.5cm

◆原稿1枚目の様式

◆原稿2枚目～4枚目の様式

題 目		↑		前の頁から			
氏名 (3行目) (所属機関)		4行					
↓							
1行 (あける)							
書き始め (6行目)	2 字 あ け る	前の段から		上下45行		← 24字 →	
上下40行							
次の段へ						<キーワード>	

2009年 月 日

【自主シンポジウム申し込み用】

FAX: 03-5228-4418

FAX送付状

(日本産業カウンセリング学会 第14回大会事務局 行)

自主シンポジウムを企画される方は、この用紙をFAXにて大会事務局あてご送付ください

タイトル

企画者

司会者

パネラー

【主な内容】

企画者連絡先(電話番号・メールアドレスなどをご記入ください)

※本紙はコピーしてご使用下さい

第13回 大会風景

